

行動

隔週の週末帰宅が楽しみ過ぎて、早朝覚醒しご家族の迎えまで待ず、激しい帰宅要求や他害がみられるようになる。

原因

- ・ ご家族の都合で帰宅がキャンセルになった経験から、帰宅のある週末とそうでない週末の認識が曖昧になり不安が増した。
- ・ 帰宅の見通しを持たせる視覚的な支援を行っていなかった。

支援

- ・ 帰宅のある日とない日の日課を明確にし、スケジュール提示した。
帰宅日 ：朝食→個別に散歩活動
帰宅のない日：朝食→他利用者と同じ余暇活動
- ・ 待ち時間には本人の得意とするプットインの自立課題を入れ、無為に過ごす時間を少しでも減らす工夫をした。

結果

- ・ 帰宅が楽しみで、早朝に起床することはあるが、スケジュールで活動を確認、活動の違いで帰宅の有無の認識が進むに連れ、表情に落ち着きと安心がみられるようになる。
- ・ 待ち時間に活動を入れることで、職員や他利用者への接触や他害も減少し、帰宅まで穏やかに待てるようになった。